

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100112
法人名	社会福祉法人ともの家
事業所名	ともの家 この道
所在地	松山市溝辺町甲93-1
自己評価作成日	平成24年1月5日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年1月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホーム全体が木の温もりと優しさに包まれており、自然の優しさに触れながら生活できる環境にある。皆が集うリビングには、対面式のキッチンを取り入れ、常に入居者と職員、いわゆる住民の談笑の場となっている。プライバシーを尊重し、日々穏やかに、安心した生活を送っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

「個人別カレンダー」を作る取り組みをすすめておられ、利用者の見やすさ、ご家族の思い等も踏まえて、市販のものを使ったり、懐かしい写真を貼ったりして手作りされている。カレンダーには、ご家族の誕生日や外泊日等を記入して、職員はカレンダーを見ながら、利用者個別の話題でお話できるように取り組まれている。外泊日を記入して職員と一緒に楽しみに待つ方もおられる。又、お話しによって利用者の表情が明るくなる等、利用者の思いの把握にもつながっている。又、ご家族と一緒に、年1回アルバム作りをされており、利用者一人ひとりのふるさと訪問もご家族と相談し、続けて取り組んでおられる。
事業所では、地域包括支援センターや利用者ご家族と協力して、公民館や地域にある短大等に出かけていき、認知症やグループホームを知っていただけるよう人形劇を行ったり、意見交換会をされた。開催後、興味を持った短大の学生が事業所に見学に来られる等、若者の認知症への理解にもつながったようだ。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

ともの家 この道

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

吉田 真紀子

評価完了日

平成24年 1月 5日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 毎月の職員会議等で理念の共有をし、それに基づき、年 間、月間の目標をたて実践につなげている	
			(外部評価) 「ケアプランの実行」と今月の目標を立てて、「毎日、利用者 1人1つケアプランを達成しよう」と取り組まれている。職員会 前には、1ヵ月の取り組みを職員個々に振り返り、次月の目 標を立て管理者に提出し、それらをもとにして、月目標を決 めておられる。管理者は、現在「ともの家介護の基本10ヶ条」 を作成している途中で、ご家族にも「どういうことに取り組ん でほしいか」等をお聞きしながら作成されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 法人開催のロビー展とバザーを定期的に行い、地域の方と の交流を計っている。また、散歩や買い物など日常的に地 域と交流している	
			(外部評価) 調査訪問日の前日に開催されたロビー展には、利用者の書 き初めの作品を展示された。又、近くの小学生の夏休みの 図画等の作品や地域の方達が「いきいきサロン」で作った手 芸作品、利用者がお若い頃に作った作品等も展示して、地 域の方達と交流されている。町内清掃には、利用者と職員で 参加しておられ、2月の公園の清掃時にも出席する予定と なっている。地域住民にアンケートを取った際に「グループ ホームは知っていても何をしているか知らない」「認知症は 知っていても詳しいことは知らない」という回答が半数あつた ことを機に、事業所では、地域包括支援センターや利用者ご 家族と協力して、公民館や地域にある短大等に出かけてい き、認知症やグループホームを知っていただけるよう人形劇 を行ったり、意見交換会をされた。開催後、興味を持った短 大の学生が事業所に見学に来られる等、若者の認知症への 理解にもつながったようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 認知症啓発活動の一環として、地域包括支援センター、民 生委員、GH職員協同で人形劇を作り、公民館や大学など でも観て頂いた	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>参加者との意見交換をし、そこで出た意見を職員会議で取り上げ、再度確認しサービスの向上に活かすよう努めている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>同法人の他事業所と合同で会議を行っておられる。事業所からは、日々の活動や外部評価結果について報告して、参加者から意見をお聞きしている。12月には、職員の内部研修会の様子を会議のメンバーに見ていただいた。メンバーからは「内容が良かった」等の感想をいただいた。管理者は今後、会議を活かしてメンバーに車椅子を押す体験等もしてもらいたいと考えておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域のグループホーム交流会を年2回開催し、運営推進会議同様必ず出席していただき協力関係を築いている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者の方には、他のグループホームの取組みを聞かせてもらったり、事業所の取組みについて、必ず何か意見等をいただけるよう働きかけておられる。地域包括支援センターから提案していただき、地域の8グループホームで交流会を行っておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人内の研修は基より職員全員が正しく理解しており拘束のないケアを実践している</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>年1回、法人代表者が講師となり、法人内事業所のすべての職員は、身体拘束についての研修を受けておられる。玄関は施錠せず、利用者は思い思いにご自分のペースで生活できるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	法人内の研修で学習し職員間でも常に話し合い相談しあえるようにしている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	法人内研修を行い学習する機会を設けた。他に外部研修の参加学習も積極的に奨励している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	利用相談があった時は、施設見学や体験入所などを勧め、時間をかけて契約に関する説明などを行い慎重に対応している	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	利用者やご家族の意見や要望はそのつどお聞きし、職員間で話し合い運営に反映させるよう努めている	
			(外部評価)	毎月25日には、ご家族も参加する「掃除デー」を設けておられ、ご家族が来られて居室等の掃除をされている。ご家族の都合で日をずらして来られる方もある。参加が難しいご家族には、強制ではないことを伝えておられる。法人内には、ご家族が主体の家族会があり、ほとんどのご家族が出席されている。又、毎月「家族の会だより」も発行されている。毎月、利用者個々の担当職員は、ご本人の様子を手紙にしてご家族に報告されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月開いている内部研修や職員会議等で、職員からでた意見や提案を積極的に取り上げ運営に反映させている	
			(外部評価)	
			法人内に5つの委員会が設置されており、すべての職員が所属して月1回委員会を開き活動されている。研修委員は、勉強したい内容を職員に聞き取り、毎月1回、事業所内で研修を行っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			資格取得者に対しては資格手当がつき、法人に貢献した者には、それなりの処遇があり、各自が向上心を持って働ける職場である	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			新人研修や毎月の内部研修の実施、外部研修を奨励援助し、個人の資格取得も応援している	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			法人内の研修会に同業者へ案内し参加していただいた。地域のケア会議やグループホーム交流会で意見の交換を行い交流をはかっている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居と同時に全職員、ご家族でケアカンファレンスを行いご本人の声をできるだけ詳しく傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ケアカンファレンス以外でも、こまめに連絡を取り信頼関係が築けるよう努めている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人とご家族の思いを受け止め、まず必要としている支援を見極め対応している	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員は、日常生活が学習の場となっている。言葉、表情、行動など触れ合いの中から学び支えられていることを感謝している	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 当法人は、ご家族をケアパートナーと位置付けている。双方からご本人を支えていく関係を築いている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 日々の話しかけの中に、馴染みの名前や地名を意識して取り入れ、友人や知人の訪問も歓迎し、美容室は、行きつけを利用している	
			(外部評価) 「個人別カレンダー」を作る取り組みをすすめておられ、利用者の見やすさ、ご家族の思い等も踏まえて、市販のものを使ったり、懐かしい写真を貼ったりして手作りされている。カレンダーには、ご家族の誕生日や外泊日等を記入して、職員はカレンダーを見ながら、利用者個別の話題でお話できるように取り組まれている。外泊日を記入して職員と一緒に楽しみに待つ方もおられる。又、お話しによって利用者の表情が明るくなる等、利用者の思いの把握にもつながっている。又、ご家族と一緒に、年1回アルバム作りをされており、利用者一人ひとりのふるさと訪問もご家族と相談し、続けて取り組んでおられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 共有の場所にソファや暖炉があり、それぞれが集えるようにしている。気の合う仲間を自室に招いたりされている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用者が亡くなった後も、ご家族との連絡は途絶えないように行事の案内をしたり、命日には、必ず電話かご自宅に訪問させていただいている。法事の案内を頂いた	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人、またはご家族にお話を聞き、その思いや願いを把握するように努めている。集めた情報は、職員間で共有しケアプラン立案にいかしている (外部評価)	利用者の情報を職員が共有しやすいように、情報を書き留めるアセスメント様式を工夫されてはどうだろうか。管理者は、さらなる利用者本位のケアに向けて、センター方式の様式を用いてみることを考えておられた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの背景をできるだけ詳しく知り、ケアプラン見直し時に、これまでの経過を把握し、新しく得た情報を加えるようにしている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた暮らしをしていただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>日々のケアの中での気づきなどを、職員間でも出し合いご家族と相談しながら、何が必要かということを考えケアプランを作成している</p>	
			(外部評価)	
			<p>介護計画について、毎月モニタリングを行い、入居間もなくは、毎月見直し、その後、介護度に応じて介護度2,3は3ヶ月に1度、介護度4,5は6ヶ月に1度見直すようにされている。計画見直し前には、職員個々が利用者の援助内容を検討して、それを持ち寄り会議で話し合っておられ、ご家族の意向も確認して、管理者が計画を作成されている。介護計画には、ご家族の「ご意見欄」を設け、具体的に記入いただけるようにされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>関わった職員が、個人記録に記入し、職員間で情報を共有し実践等に活かしている</p>	
			(外部評価)	
			<p>当法人の四事業所を行き来し交流をはかったり、クラブ活動の生け花や書道に参加していただいている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			(外部評価)	
			<p>年2回の防災訓練時に消防署員の協力を得た。地域の防災士にも来ていただいた。地域の商店利用などで繋がりが持てるように支援している。毎月1回近所の方が、ピアノの演奏に来てくださる</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	毎月一回主治医による往診があり、気になる事柄を往診ノートに書き込みアドバイスをいただいたり、必要に応じて血液検査や健康相談をしていただいている。重度やターミナルケアの方には、訪問診療との連携も取れている
			(外部評価)	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	利用者の変化や気になること等は、看護職員にいつでも相談でき、その時の状態に合わせて対応できるようにしている
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	ご家族と共に病院関係者との情報交換や相談に努めている
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	ご家族の希望をお聞きし、管理者と看護職らが中心となり、話し合いを持ち、職員全員で方針を共有するようにしている。 最近では、見学や入居時にご家族の方から「看取りはできますか」と聞かれることが多くなってきたようだ。管理者は、利用者に体重の減少や食事量の低下等の状態が見られたら、「看取りの時期に入る段階」と見極め、看護師やホーム長と相談して、ご家族との話し合いの場を持っておられる。利用者の状況に応じて、ご家族と話し合い、ご家族の理解と協力を得ながら看取りを支援されている。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 主治医及び看護師による内部研修があり、職員は実践力を身につけている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災訓練を定期的に行い、地域の方に避難の場所の確保など協力していただいている。法人内にも防災士がおり、地区の防災士のアドバイスもいただいた	
			(外部評価) いざという時には隣接の系列事業所に連絡して、連絡網を回してもらうようになっており、職員は利用者の避難誘導に専念することに決めておられる。車椅子を使う利用者の方は、なるべく掃き出しの窓がある居室を使用できるよう配慮されている。近くの中学校で行われた地区の防災訓練には、利用者1名と職員が参加された。事業所は、災害時、地域住民の一時避難場所として、市に届け出ておられる。2月には、地震を想定して避難訓練を行う予定となっている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員は法人の接遇態度、援助のチェックポイントに基づき一人ひとりの思いを大切に、サービスの提供を行っている。介助の後には、必ず感謝の言葉を伝えている。昨年の研修会で、援助のチェックポイントの再見直しを行った	
			(外部評価) 管理者は、職員に日頃から「利用者の立場に立つこと」「自分だったらどう思うか」と考えながら支援するよう伝えておられる。法人の「援助のチェックポイント」に沿って職員個々に自己点検し、できていない項目については「今後どうしていくか」という改善策を考え、職員のケアの質向上を目指す仕組みを作っておられる。現在、「援助のチェックポイント」の項目の見直しをされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 誕生日には、本人の希望の献立にしたり、朝の洋服選びや、朝食にパンかご飯か、など、そのつど本人の意思を尊重している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者ご自身が、散歩に行かれたり、お部屋で休まれたり、と、臨機応変にその方に合わせた支援をしている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ご自分でされる方には声掛けや見守りをし、そうでない方にも外出やイベント時などに、その方に合ったおしゃれをしていただいている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に台所に立ち、野菜切り、盛り付け、片付けなどしていただいている。できない方には、献立の食材を手に持ってもらったり、匂いをかいでいただいたりと五感を感じていただいている	
			(外部評価) 昼食は主・副菜、夕食は主菜が法人の厨房から届くようになっている。利用者の状態によって、ミキサーにかけたり、トロミを付けて食べやすく調理されている。調査訪問時、休みやすみ、ゆっくり食べる利用者に、職員は、何度も声をかけるのではなく、利用者のペースで食べることができるよう、見守りながらサポートされていた。現在、チューブを使って栄養補給している利用者が、以前からビールがお好きで、「ビールが飲みたい」という希望があり、医師に希望を伝え、相談して、スプーンにほんの少しだが、ビールを口にされた。ご本人は非常に喜ばれたようで、今後も様子を見ながら支援していきたいと話しておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康チェック表で摂取量を確認し、個々に合わせてミキサー食にしたり、トロミやゼリー、補食なども用意し提供している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご自分でされる方には声掛けや見守りをし、そうでない方には介助させていただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は、おおかたトイレで排泄していただいている。一人ひとりの状態を把握している	
			(外部評価) 紙パンツやパットを使用している利用者には、排尿の間隔や量に合わせたパットを使用できるよう検討されている。又、尿量を考慮して夜間は安眠できるよう紙おむつを使用したり、トイレに座ることが苦痛な利用者への配慮等、本人本位の排泄介助に努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳、ヨーグルト、食物繊維の多い食品を積極的に取り入れ、水分摂取も一人ひとりに合わせ、家事、体操、散歩などの軽い運動で自然排便に努めている	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その時の状況をふまえ、一人ひとりに合わせて支援している	
			(外部評価) 週2～3回、午後から入浴できるよう支援されている。ご本人が入浴する日でなくても、ご本人からの希望があれば入浴できるように支援されている。浴槽をまたぐことが難しい方には、リフトを使って浴槽で温まれるように支援されている。なるべく同姓介助に努めておられるが、安全面を考慮して支援されている。歌を歌いながら入浴される方もいる。車椅子のまま浴槽に入ることができる温泉施設(友輪荘)に利用者2名と出かけ、利用者はたいへん喜ばれたようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠できるように支援し、また居室内の温度や湿度にも気を付けている。日中も、一人ひとりに合わせた休息をしていただいている	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	
			薬に関しては、医師や看護師から説明を受け、職員全員が把握し、配薬、服薬のチェックも複数の職員で行っている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	
			これまでの趣味や特技をいかした、一人ひとりに合わせたケアプランの実践を通し日々楽しく過ごせるように支援している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	
			花見、遠足、運動会等法人の行事には、ご家族の参加もある。ご家族の協力を得ながら、馴染みの美容室にも定期的に出かけたり、一人ひとりに合わせた支援をさせていただいている	
			(外部評価)	外に出て、併設、隣接の事業所と日向ぼっこしながら交流されたり、公園まで散歩等されている。動物園への遠足は、普段は外出することが難しいような利用者も、動物がお好きなこともあり、ご家族と相談して出かけられた。ご本人は動物を見てたいへん喜ばれたようだ。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	
			スーパーなどに買い物に行った時の支払いは、できるだけしていただいている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	
			ご自分でできる方は、いつでもしていただき、できない方の支援として、贈り物などを、お話ししながら目の前で開け、手紙を読ませていただき、お礼の電話をかけ、声を聞いていただいたり、手紙の代筆をさせていただいている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>心地よい音楽をかけ、季節の花を活け、暖炉の温もりを感じ居心地良く過ごしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、有線放送の音楽(唱歌や昔の歌)を流し、調査訪問時にはソファーに腰掛け、口ずさまれている利用者の様子もみられた。玄関から居間が見えるため、つい立で中の様子が見えにくいように配慮されていた。換気には注意がとられ、居間は、朝、利用者が起きて来られない間に換気を行ったり、調査訪問時には、午後、少しの間、窓を開け換気しておられた。トイレが広いこともあり、寒さを感じないようにヒーターを付けておられた。トイレと浴室は隣合わせの造りで、トイレを使用してから入浴につながりやすいようになっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分専用の居場所があり、また好きなところで過ごせるように暖炉やソファーがある</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的に居室作りは、ご家族にお願いしている。ご家族の写真や趣味の品を飾っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>お若い頃の写真やご家族の写真を飾ったり、使い慣れたタンスも持ち込まれている。ご自分が生けた花かごを飾っておられる方もみられた。現在、作成中の個人別カレンダーを壁に貼っておられた。利用者が居間等に出ている間は、居室の窓を開け、換気しておられる。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有の場所を真ん中にし、両側にそれぞれの居室がある。場所の確認として、貼り紙をしている</p>	